

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	ブックスタート事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市子ども・子育て支援事業計画 鳴門市子ども読書活動推進計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成	19年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なると			終期	未定
(小項目)		児童福祉				
施策	2	児童福祉の推進				
基本事業	1	子どもの健やかな成長支援				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 4か月・9か月健診の対象児童及び保護者						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	絵本を通じて親子のコミュニケーションを深め、子どもの豊かな人間性を育む。また、ボランティアスタッフによる絵本の読み聞かせや図書館の絵本の紹介など、絵本との出会いの場を提供することで、親子で絵本に親しむ機会を増やしていく。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	4か月・9か月健診時を活用して、ボランティア団体ゆりかごによる絵本の読み聞かせを行い、絵本との出会いの場を提供するとともに、絵本を贈る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		絵本配布率	95	95	95	95	95	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成28年度は12回実施し、340名に配布した。(対象者数348名 配布率98%) 4か月健診に来られなかった保護者には、健康増進課と連携をとり、家庭訪問時に案内をしたり、家庭に案内をして窓口で対応したりしている。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 活動回数	12	12	12	12	12	回
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	絵本配布率	99	98	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)		103.2	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	221	221
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	221	221
		決算額	0	0	0	0	221	221
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.2	0.2	1,835	2,056			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:ブックスタート事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	235	221	221	221	221
	うち一般財源	0	221	221	221	221
	人件費	1,786	1,835	1,835	1,835	1,835
	総事業費	2,021	2,056	2,056	2,056	2,056

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		平成22年3月に制定された「鳴門市子ども読書活動推進計画」に添って取り組んでいる子どもの読書推進において、ブックスタート事業は重要な位置を占めている。
	効率性	A:効率的だった		健診時に配布することにより高い配布率を維持するとともに、郵送料等の経費削減にもつながっている。
②成果に対する評価	指標名	絵本配布率		鳴門市子ども読書活動推進協議会において、事業の報告を行い、委員に成果を認められている。また、保護者へのアンケート調査からも好評を得ている。
	目標	95	%	
	実績	98	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		絵本を通じた親子のコミュニケーションを深めることで、子どもの情緒や豊かな人間性を育むことができ、継続的な事業の実施が望ましい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	4か月・9か月健診に来ない世帯には、案内を行い、子どもいきいき課窓口で配布するようにしているが、窓口にも来ない世帯がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	健康増進課・図書館・ボランティア団体と連携をとり、保護者への周知を行い、家庭訪問時などを利用して配布することによって事業を推進する。			
	H30年度	継続			